

きくよう遊休農地発生防止・解消活動

農委会名：菊陽町農業委員会

1 地域の概要

菊陽町は、熊本市の北東部に位置し、恵まれた土壌と整備された農地を活用して、多彩な農産物が生産されている。その中でも国の産地指定を受けている人参が特産であり、経営規模を拡大し他産業並みの所得を上げている優れた農業経営者も多く育ってきており、生産量は県内1位となっている。また畜産も盛んであり高品質の品物が生産されている。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 9人（うち、認定8人、女性1人）
- (2) 推進委員数 9人（うち、認定5人）
- (3) 事務局体制 2人（専任）

3 掲げた目標

年間約1.0haの遊休農地を解消する。

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

菊陽町農業委員会では、遊休農地の解消ため農業委員・農地利用最適化推進委員の全員で取り組んでいる。その結果、僅かではあるが約0.2haの遊休農地の解消につながっている。

また、耕作放棄地防止活動として、町道沿線の2カ所にヒマワリを植え、耕作放棄地の防止を呼び掛けた。



5 取り組みの成果

遊休農地解消面積の目標1.0haに対し、0.2haの解消に留まっている。

しかしながら、毎年確実に遊休農地の面積は縮小しており、現在約2.7haになっている。

6 課題と今後の方針等

本町においては、遊休農地は徐々にではあるが確実に解消されており、今後も遊休農地の発生防止及び解消に向け、農業委員・最適化推進委員全員で取り組んでいくとともに、啓発事業として景観美化活動も引き続き行っていく。